第20回高専シンポジウム in 函館

主　催：高専シンポジウム協議会，函館工業高等専門学校
後　援：国立高等専門学校機構，北海道，北海道教育委員会，函館市，函館市教育委員会，
七飯町，七飯町教育委員会，北斗市教育委員会，知内町教育委員会，森町教育委員会，
豊橋技術科学大学，長岡技術科学大学，函館工業高等専門学校地域連携協力会，
産学連携クリエイティブネットワーク，函館地域産業振興財団
協　賛：応用物理学会，化学工学会，高分子学会，資源・素材学会，情報処理学会，電気学会，
電子情報通信学会，土木学会，日本化学会，日本機械学会，日本金属学会，
日本建築学会，日本工学教育協会，日本高専学会，日本材料学会，日本生物工学会，
日本セラミックス協会，日本農芸化学会，日本分析化学会，日本水環境学会
開催日時：平成27年１月10日（土）9:00～17:00
会　　場：函館工業高等専門学校（〒042-8501　函館市戸倉町14番１号）

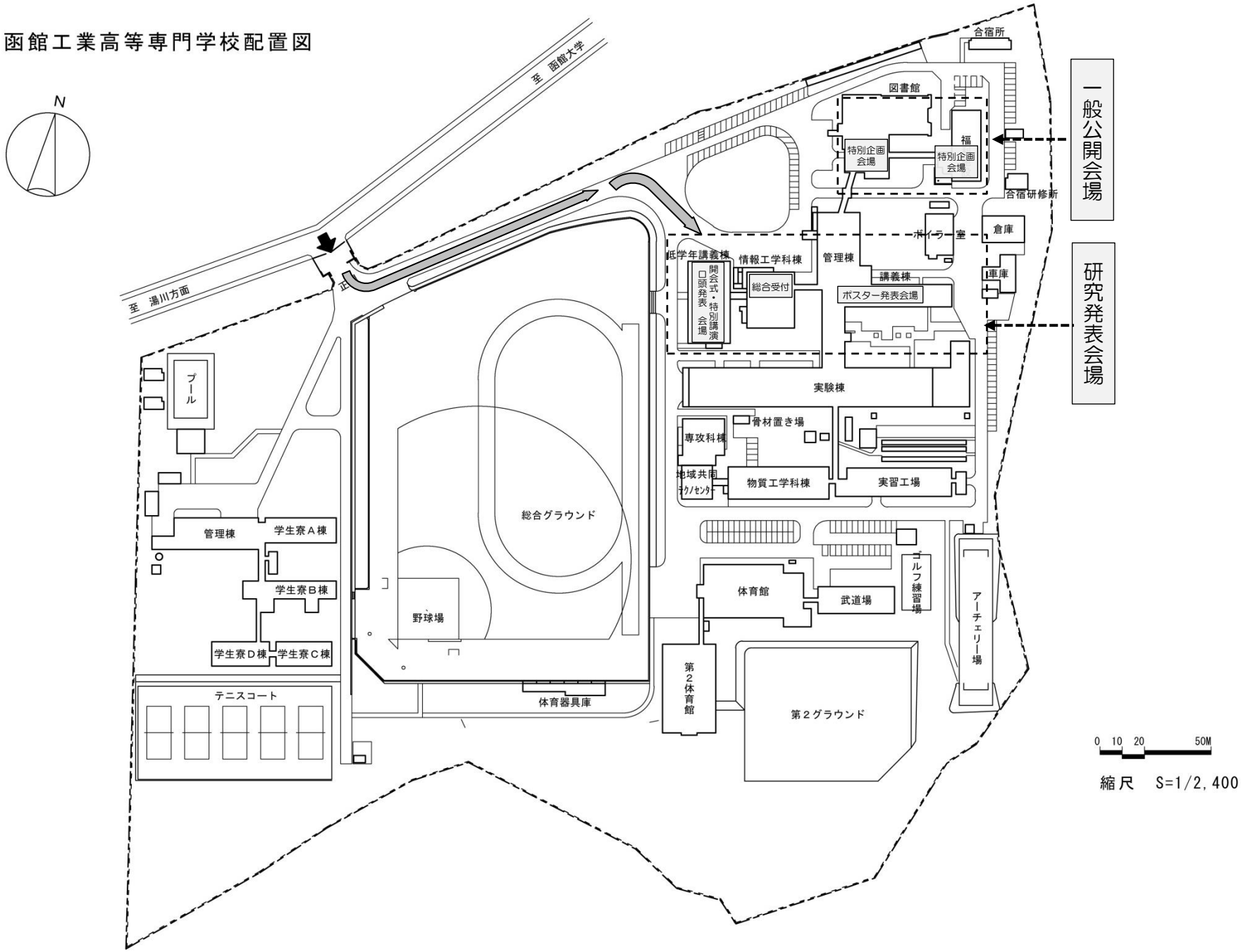
■　開会式・特別講演　13:20～14:40　大講義室（低学年講義棟　１階）
・開会式　13:20～13:45　　総合司会：小林淳哉　（函館高専物質環境工学科　教授）
挨　拶　　岩熊　敏夫　　函館工業高等専門学校長・
第20回高専シンポジウム実行委員長
上田　　孝　　久留米工業高等専門学校長・高専シンポジウム協議会長
祝　辞　　紀　　聖治　　独立行政法人国立高等専門学校機構　理事

・特別講演　13:45～14:40
演　題　　函館マリンバイオクラスター形成への取り組み
講　師　　公益財団法人　函館地域産業振興財団　　宮原　則行　氏

■　一般講演　研究発表：３３８件（口頭発表：２０９件、ポスター発表：１２９件）
・分　野：材料，化学，生物，環境，機械，電気・電子，情報・通信，建築・土木，
工学教育等
・口頭発表：午前の部　9:00～11:10，午後の部　14:50～17:00
Ａ会場～Ｊ会場（低学年講義棟　１階～４階）
・ポスター発表：10:00～13:00　（コアタイム　前半10:00～11:00，後半11:00～12:00）
Ｐ１会場～Ｐ５会場（講義棟　１階～３階）

■　特別企画
・企業展示ブースおよび工業技術センター成果物展示　11:00～14:00　図書館，福利施設
海の街である函館は，水産・海洋に関する様々な資源やポテンシャルを活用することにより，国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市を形成し，地域経済の活性化を目指しています。これは「函館国際水産・海洋都市構想」として進められ，これまで文部科学省都市エリア産学官連携促進事業や知的クラスター事業なども活用してさまざまな研究とそこから派生する商品群を生み出しています。
本企画では，この事業を通して海藻由来の高付加価値な製品を開発・販売する企業と，こうした企業での商品化にもつながった工業技術センターによる多数の研究成果を紹介します。

・アクティブラーニング成果物展示　10:00～15:00　大会議室（図書館　２階）
モデルコアカリキュラム（試案）策定後の次のステージとして，学生の到達度評価と学習支援を進めることを目的に実施している「文部科学省大学間連携共同教育推進事業」の成果物として，アクティブラーニングを推進するために開発した教材やＩＣＴ教育ツールを展示します。

■　高専シンポジウム創立20周年記念講演　18：00～18：20　ロワジールホテル函館(3階)琥珀
演　題　高専シンポジウム20回までの軌跡
講　師　久留米高専名誉教授（高専シンポジウム創設者）　鳥井　昭美　氏

函館工業高等専門学校配置図